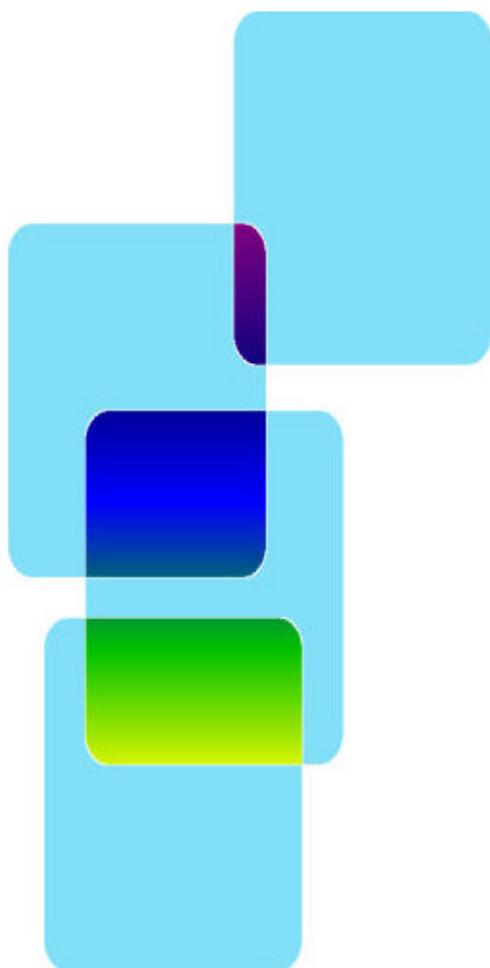


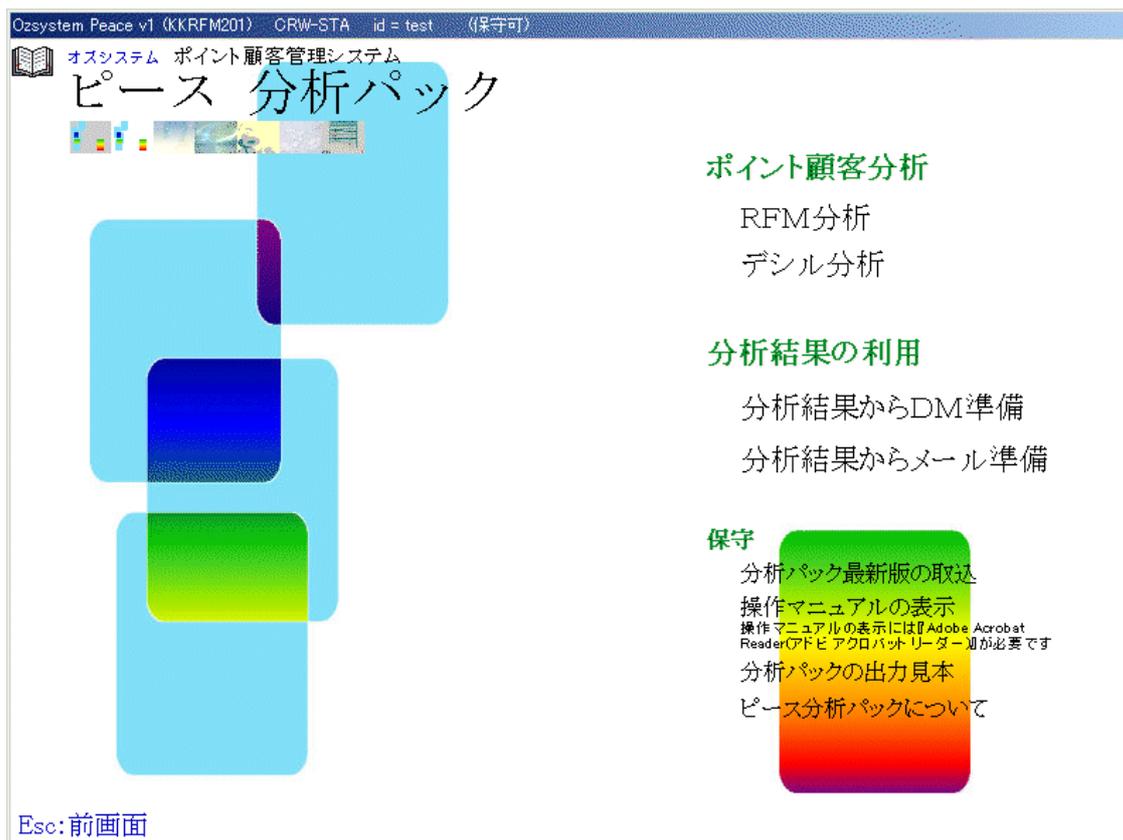
ピースV1

分析パック<sup>第1版</sup>



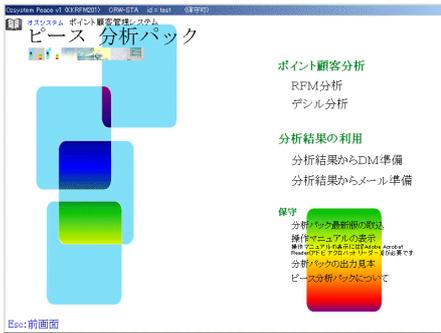
有限会社 オズシステム

# 目次



ポイント顧客分析：RFM分析	1
RFM：分析とは	1
手順1：抽出条件の設定	1
手順2：購買日付詳細指定	2
手順3：RFM分析パラメータ	2
手順4：参考：上部抽出条件での各値	2
手順5：RFM分析でのグループ分け	3
手順6：出力物の選択	4
ポイント顧客分析：デシル分析	5
デシル：分析とは	5
手順1：抽出条件の設定	5
手順2：参考：上部抽出条件での各値	6
手順3：購買日付詳細指定	6
手順4：出力物の選択	6
購買日付詳細指定の例	7
出力するExcelブック名	9
分析結果の利用：分析結果からのメール準備	12
保守	14

# ポイント顧客分析：RFM分析



Ozsystem Peace v1 (KKRFP801) CRW-STA id = USER (保守可)

## ポイント顧客分析(RFM分析)

抽出条件

最終来店日  
 前3か月 | 前6か月 | 前1年 | 前2年 | 前10年  
 1998年07月01日 ~ 2008年07月16日  
 上記の後日付に 54 ヵ月後の 日付設定

設定 | 前条件に戻す | DM設定から取得 | メール設定から取得  
 ポイント情報 : 最終来店日 指定 (かつ) 1998年07月01日~2008年07月

通常は来店日の範囲指定のみですが、たとえば女性だけに絞り込んで分析を行いたい場合等は詳細条件を設定できます。

購買日付詳細指定  
 説明  購買日付詳細指定をする 1998年07月01日 ~ 2008年07月16日  最終来店日を購買詳細日付範囲の日付とする。  
 前3か月 | 前6か月 | 前1年 | 前2年 | 前10年

RFM分析パラメータ

ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1	基準日
R 30 日以内	60 ランク5未満 日以内	90 ランク4未満 日以内	180 ランク3未満 日以内	180 日結	2008年07月16日 本日   当月   前月
F 50 回以上	30 ランク5未満 回以上	10 ランク4未満 回以上	2 ランク3未満 回以上	2 回未満	最終来店日から設定
M 100 万以上	50 ランク5未満 万以上	20 ランク4未満 万以上	10 ランク3未満 万以上	10 万未満	サンプル設定 テンプレート 便利画面

R(recency:最終来店日時) F(frequency:利用回数) M(monetary:累計購買額)

RFM分析でのグループ分け  
 設定するグループ  グループA  グループB  グループC  グループD  グループE  未分類

R5	F5	F4	F3	F2	F1	R4	F5	F4	F3	F2	F1	R3	F5	F4	F3	F2	F1	R2	F5	F4	F3	F2	F1	R1	F5	F4	F3	F2	F1
M5	688	649	588	528	519	M4	458	444	434	426	411	M3	265	248	238	231	215	M2	255	245	235	224	215	M1	158	148	138	128	118
M4	624	574	524	524		M3	454	444	434	426	411	M2	264	244	234	224	214	M1	254	244	234	224	214	M1	154	144	134	124	114
M3	638	548	538	528	512	M2	458	448	438	428	418	M1	268	258	248	238	228	M1	258	248	238	228	218	M1	158	148	138	128	118
M2	638	548	538	528	512	M1	458	448	438	428	418	M1	268	258	248	238	228	M1	258	248	238	228	218	M1	158	148	138	128	118
M1	631	541	531	521	511	M1	451	441	431	421	411	M1	261	251	241	231	221	M1	251	241	231	221	211	M1	151	141	131	121	111

該当部分をクリックするか、または Shiftキーを押しながらマウスでなぞって 指定します。

ESC:メニューへ F12:次画面

2008/08/01 17.16

## RFM : 分析とは

RFM分析は、お客様のこれまでの行動を下記の3つに分類してランク分けを行い、拡販のための行動を、コスト・時間・労力を少なく効果的に行うためのものです。

- ・最近買ってくれたお客様
- ・よく買ってくれるお客様
- ・これまでの購入金額の多いお客様

この考え方に基づいた3つの視点を、次のようにR、F、Mという文字で表します。

- R Recency (リセンシイー)・・・最終来店日 (直近の購入日)
- F Frequency (フリクエンシイー)・・・利用回数
- M Monetary (マネタリイー)・・・購入金額

そして個々のお客様にR、F、Mそれぞれのランク付けを行い、3つのランクの組合せで分類します。RFM分析は、このような方法でお客様をランク分けして、それぞれのランクに合わせて、効果的な拡販のための行動を行うためのものです。

本パッケージでは、R、F、Mをそれぞれ5段階のランクに分類し、そのランクの組み合わせでグループ分けする事により、行っています。

## 手順1 : 抽出条件の設定

分析パックでは、ピースV1の購買履歴からデータを取得しますが、この取得する範囲をピースV1と同じ操作の抽出条件の設定にて行います。

抽出条件

最終来店日  
 前3か月 | 前6か月 | 前1年 | 前2年 | 前10年  
 1998年07月01日 ~ 2008年07月16日  
 上記の後日付に 54 ヵ月後の 日付設定

設定 | 前条件に戻す | DM設定から取得 | メール設定から取得  
 ポイント情報 : 最終来店日 指定 (かつ) 1998年07月01日~2008年07月

通常は来店日の範囲指定のみですが、たとえば女性だけに絞り込んで分析を行いたい場合等は詳細条件を設定できます。

抽出条件の設定方法は、ピースのマニュアルを参照

## 手順 2 : 購買日付詳細指定

通常は指定する必要はありませんが、詳細な日付の範囲を指定したい場合は、下記部分にて指定を行います。

購買日付詳細指定		
説明 <input checked="" type="checkbox"/> 購買日付詳細指定をする	1998年07月01日 ~ 2008年07月16日	<input type="checkbox"/> 最終来店日を購買詳細日付範囲の日付とする。
前3カ月 前6カ月 前1年 前2年 前10年		

詳細はP. 7 を参照

## 手順 3 : RFM分析パラメータ

R、F、Mそれぞれについてランクの範囲を指定します。

RFM分析パラメータ						基準日
ランク5	ランク4	ランク3	ランク2	ランク1		2008年07月16日
R 30 日以内	60 ランク5超 日以内	90 ランク4超 日以内	180 ランク3超 日以内	180 日超		本日 当月 前月
F 50 回以上	30 ランク5未満 回以上	10 ランク4未満 回以上	2 ランク3未満 回以上	2 回未満		最終来店日から設定
M 100 万以上	50 ランク5未満 万以上	20 ランク4未満 万以上	10 ランク3未満 万以上	10 万未満		サンプル設定
R(recency:最終来店日時) F(frequency:利用回数) M(monetary:累計購買額)						テンプレート
						便利画面

- ・ 基準日  
この日付から最終購買日付が何日前かを計算します。  
最終来店日以前の日付を指定してください。

### 最終来店日から設定

最終来店日を基準日に設定します。

### サンプル設定

サンプルを設定します。サンプルはこのマニュアルの記載にある値です。

### テンプレート

RFM分析パラメータのランクの範囲を保存/読込を行います。  
テンプレートについてはピースのマニュアルを参照してください。

### 便利画面

下記画面で、ランク範囲の指定をマウス操作で行う事ができます。

The screenshot shows the RFM analysis parameter screen with a set of navigation buttons for each parameter. The buttons are: 1up, 10up, 1Down, 10Down. A button labeled 'F12:前画面' is also visible at the bottom right.

## 手順 4 : 参考 : 上部抽出条件での各値

参考: 上部抽出条件での各値	
最小購買額	403
最大購買額	3,142,662
購買額累計	2,331,871,087
平均額累計	855,105
データ数	2,727
各値を得る	

### 各値を得る

上部抽出条件により抽出されるデータの各値を表示します。  
補足：表示されるデータは購買日範囲指定で指定した範囲ではありません。

## 手順5：RFM分析でのグループ分け

RFM分析でのグループ分け  
設定するグループ  グループA  グループB  グループC  グループD  グループE  未分類

R5					R4					R3					R2					R1									
F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1					
M5	858	545	538	525	515	M5	458	445	438	425	415	M5	358	345	338	325	315	M5	258	245	238	225	215	M5	155	145	135	125	115
M4	854	544	534	524	514	M4	454	444	434	424	414	M4	354	344	334	324	314	M4	254	244	234	224	214	M4	154	144	134	124	114
M3	853	543	533	523	513	M3	453	443	433	423	413	M3	353	343	333	323	313	M3	253	243	233	223	213	M3	153	143	133	123	113
M2	852	542	532	522	512	M2	452	442	432	422	412	M2	352	342	332	322	312	M2	252	242	232	222	212	M2	152	142	132	122	112
M1	851	541	531	521	511	M1	451	441	431	421	411	M1	351	341	331	321	311	M1	251	241	231	221	211	M1	151	141	131	121	111

該当部分をクリックするか または Shiftキーを押しながらマウスでなぞって 指定します。

RFM分析パラメータの値によるグループ分けを指定します。  
設定するグループを指定し、  
該当の枠部分ををクリックするか又は Shiftキーを押しながらマウスポインタを  
該当の枠の上に動かす事によって指定します。

### 全て設定

全てを「設定するグループ」で指定したグループにします。

### サンプル設定

サンプルを設定します。サンプルはこのマニュアルの記載にある値です。

### テンプレート

RFM分析でのグループ分けの各設定の保存/読込を行います。  
テンプレートについてはnnを参照してください。

### 他の視点から

下記画面でR視点からだけではなく、R、F、Mの各視点から設定できます。

Ozsystem Peace v1 (KKRFP801) CRW-STA id = USER (保守可)

ポイント顧客分析(RFM分析)

グループ指定  
設定するグループ  グループA  グループB  グループC  グループD  グループE  未分類

R (recency:最終来店日時)の視点

R5					R4					R3					R2					R1									
F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1					
M5	858	545	538	525	515	M5	458	445	438	425	415	M5	358	345	338	325	315	M5	258	245	238	225	215	M5	155	145	135	125	115
M4	854	544	534	524	514	M4	454	444	434	424	414	M4	354	344	334	324	314	M4	254	244	234	224	214	M4	154	144	134	124	114
M3	853	543	533	523	513	M3	453	443	433	423	413	M3	353	343	333	323	313	M3	253	243	233	223	213	M3	153	143	133	123	113
M2	852	542	532	522	512	M2	452	442	432	422	412	M2	352	342	332	322	312	M2	252	242	232	222	212	M2	152	142	132	122	112
M1	851	541	531	521	511	M1	451	441	431	421	411	M1	351	341	331	321	311	M1	251	241	231	221	211	M1	151	141	131	121	111

F (frequency:利用回数)の視点

F5					F4					F3					F2					F1									
R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1	R5	R4	R3	R2	R1					
M5	858	545	538	525	515	M5	458	445	438	425	415	M5	358	345	338	325	315	M5	258	245	238	225	215	M5	155	145	135	125	115
M4	854	544	534	524	514	M4	454	444	434	424	414	M4	354	344	334	324	314	M4	254	244	234	224	214	M4	154	144	134	124	114
M3	853	543	533	523	513	M3	453	443	433	423	413	M3	353	343	333	323	313	M3	253	243	233	223	213	M3	153	143	133	123	113
M2	852	542	532	522	512	M2	452	442	432	422	412	M2	352	342	332	322	312	M2	252	242	232	222	212	M2	152	142	132	122	112
M1	851	541	531	521	511	M1	451	441	431	421	411	M1	351	341	331	321	311	M1	251	241	231	221	211	M1	151	141	131	121	111

M (monetary:累計購買額)の視点

M5					M4					M3					M2					M1									
F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1	F5	F4	F3	F2	F1					
R5	858	545	538	525	515	R5	458	445	438	425	415	R5	358	345	338	325	315	R5	258	245	238	225	215	R5	155	145	135	125	115
R4	854	544	534	524	514	R4	454	444	434	424	414	R4	354	344	334	324	314	R4	254	244	234	224	214	R4	154	144	134	124	114
R3	853	543	533	523	513	R3	453	443	433	423	413	R3	353	343	333	323	313	R3	253	243	233	223	213	R3	153	143	133	123	113
R2	852	542	532	522	512	R2	452	442	432	422	412	R2	352	342	332	322	312	R2	252	242	232	222	212	R2	152	142	132	122	112
R1	851	541	531	521	511	R1	451	441	431	421	411	R1	351	341	331	321	311	R1	251	241	231	221	211	R1	151	141	131	121	111

F12:前画面

## 手順6：出力物の選択

最初の画面で、**F12:次画面** を押すと下記画面が表示されます。

出力物の選択をおこないます。

出力物の選択

全部チェック 全部解除

RFM解析パラメータ

グループ値

グループ値のグラフの種類(左)

種類1 種類2 種類3

グループ値のグラフの種類(右)

種類1 種類2 種類3

種類4 種類5 種類6

R視点人数  R視点金額

F視点人数  F視点金額

M視点人数  M視点金額

RFM顧客一覧

RFM顧客一覧の出力項目/順序

出力項目

000:最終購買額  
010:現在ポイント  
020:生涯ポイント  
030:最終発行ポイント  
040:最終交換ポイント  
050:ランク  
060:初回来店日  
070:性別  
080:生年月日  
090:年齢層(初回来店時点)  
100:推定年齢  
110:お名前(カナ)  
120:お名前(漢字)  
130:郵便番号  
140:住所1  
150:住所2  
160:住所3  
170:電話番号1  
180:電話番号2  
190:メモ

出力不要項目

全不要  
不要

出力  
全出力

ダブルクリックでも指定/解除できます。

出力順序

会員番号順  RFM値順  グループ順

出力グループ

全部チェック 全部解除

グループA  グループB  グループC  グループD  グループE  未分類

出力するExcelブック名(フォルダを指定しない場合は C:¥ に作成されます)

B:¥TEST F9:参照

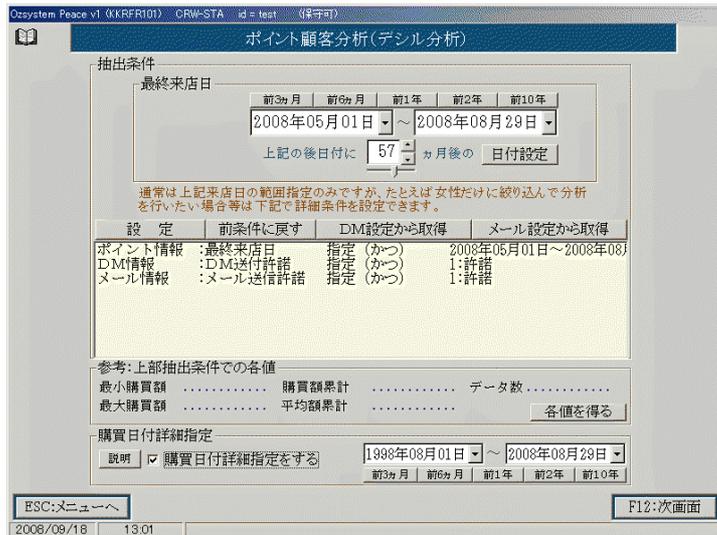
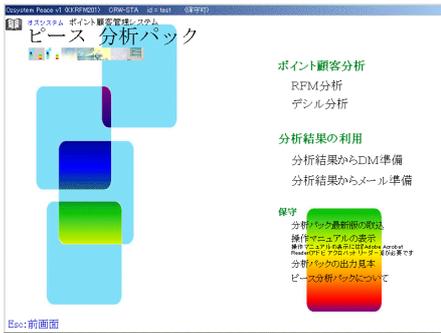
ESC:前画面 F12:Excel出力

2008/08/01 17:17

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

RFM解析パラメータ	R視点人数
グループ値	R視点金額
RFM顧客一覧	F視点人数
	F視点金額
	M視点人数
	M視点金額

# ポイント顧客分析：デシル分析



## デシル：分析とは

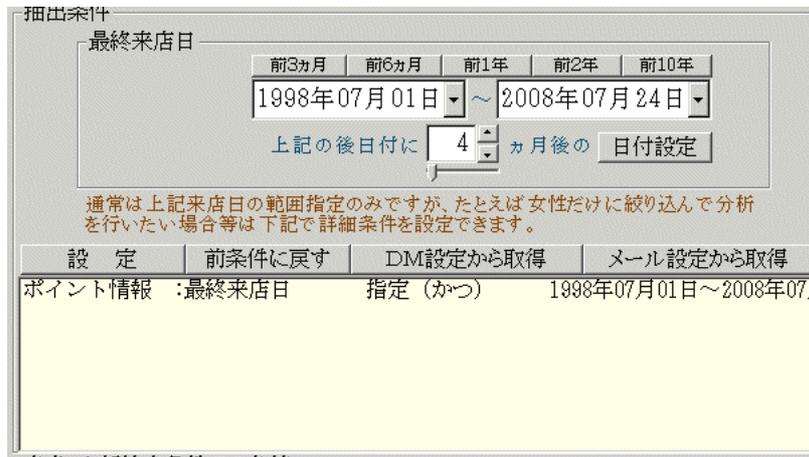
デシル分析とは、お客様を購入金額の高い順に10（デシル）等分してその構成比を算出する分析方法です。売上の上位集中度の観点から、お客様の全体概況を把握する手法です。対売上高貢献度の高い優良お客様を知ることができるなど、現状把握に有効で、分析も簡便であることからお客様分析の第1ステップであると考えられています。

より詳しくお客様分析を行う場合はRFM分析を利用してください。

## 手順1：抽出条件の設定

この手順は、RFM分析と同じです。

取得する範囲をピースV1と同じ操作の抽出条件の設定にて行います。



抽出条件の設定方法は、ピースのマニュアルを参照

## 手順 2 : 参考 : 上部抽出条件での各値

各値を得る を押すと

上部抽出条件により抽出されるデータの各値を表示します。

補足 : 表示されるデータは購買日範囲指定で指定した範囲ではありません。

参考:上部抽出条件での各値			
最小購買額	403	購買額累計	2,643,349,787
最大購買額	3,142,662	平均額累計	881,117
		データ数	3,000

## 手順 3 : 購買日付詳細指定

通常は指定する必要はありませんが、詳細な日付の範囲を指定したい場合は、下記部分にて指定を行います。

購買日付詳細指定	
<input type="button" value="説明"/> <input checked="" type="checkbox"/> 購買日付詳細指定をする	1998年07月01日 ~ 2008年07月24日
	<input type="button" value="前3ヵ月"/> <input type="button" value="前6ヵ月"/> <input type="button" value="前1年"/> <input type="button" value="前2年"/> <input type="button" value="前10年"/>

詳細はP. 7 を参照

## 手順 4 : 出力物の選択

最初の画面で、 **F12:次画面** を押すと下記画面が表示されます。

出力物の選択をおこないます。

出力物は、下記のものがあります。(内容は見本を参照してください)

デシル値

デシル顧客一覧

# 購買日付詳細指定の例

## A氏、B氏来店の購買記録例

A氏				B氏				
5/1	/15	7/1	/2	10/4	/10	11/1	/2	12/20
5月		7月		10月		11月		
1日	5,000	1日	1,000	4日	1,400	1日	1,000	12月20日 10,000
15日	2,000	2日	2,000	10日	2,000	2日	100	
	1500 5000		5000 8000		900 2200			
B氏								
5/15	/16	7/6	/12	9/10	/12			
5月		7月		9月				
15日	1,500	6日	5,000	10日	900			
16日	5,000	12日	8,000	12日	2,200			

## 抽出条件での最終来店日指定

XXXX年10月1日～XXXX年12月30日 と指定した場合

A氏 対象

B氏 対象ではない

A氏				B氏				
5/1	/15	7/1	/2	10/4	/10	11/1	/2	12/20
5月		7月		10月		11月		
1日	5,000	1日	1,000	4日	1,400	1日	1,000	12月20日 10,000
15日	2,000	2日	2,000	10日	2,000	2日	100	
B氏								
5/15	/16	7/6	/12	9/10	/12			
5月		7月		9月				
15日	1,500	6日	5,000	10日	900			
16日	5,000	12日	8,000	12日	2,200			

B氏はこの間に購買を行っていないので対象外となる

XXXX年 9月1日～XXXX年12月30日 と指定した場合

A氏 対象

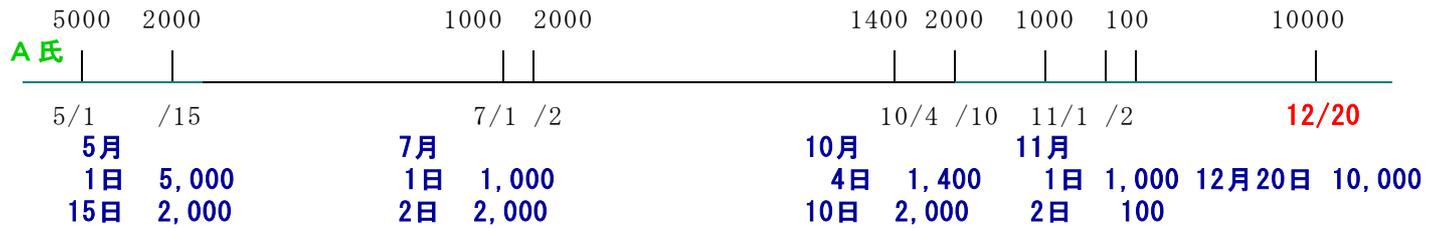
B氏 対象

A氏				B氏				
5/1	/15	7/1	/2	10/4	/10	11/1	/2	12/20
5月		7月		10月		11月		
1日	5,000	1日	1,000	4日	1,400	1日	1,000	12月20日 10,000
15日	2,000	2日	2,000	10日	2,000	2日	100	
B氏								
5/15	/16	7/6	/12	9/10	/12			
5月		7月		9月				
15日	1,500	6日	5,000	10日	900			
16日	5,000	12日	8,000	12日	2,200			

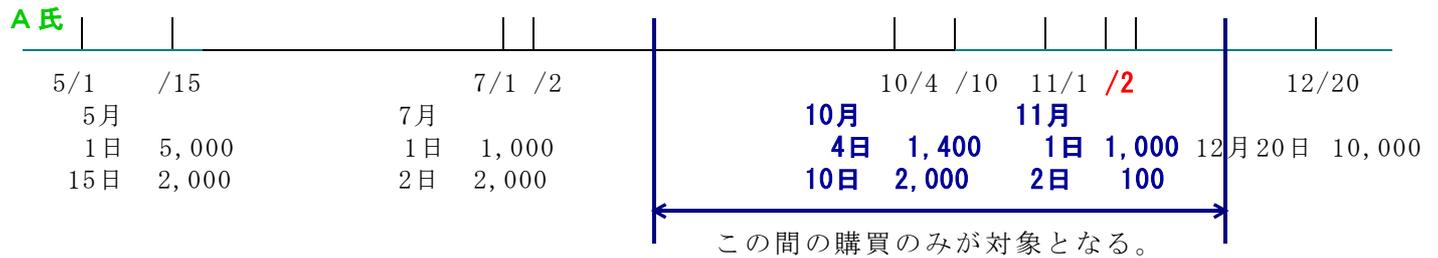
最終来店日が範囲内にあるので対象となる。

**購買日付詳細指定（A氏について説明）**

・購買日付詳細指定を指定しない場合は、9回の購買が全て対象となります。



・購買日付詳細指定を指定した場合は、指定範囲を 9月1日～11月30日とした場合、4回の購買のみが対象となります。



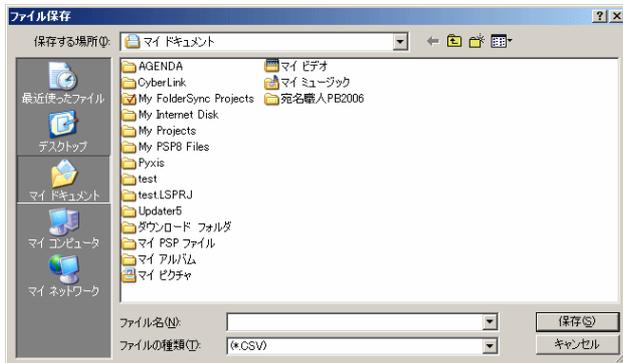
この場合の R（recentry:最終来店日）の日数計算は、下記日付からの来店間隔になります。  
 チェックをつけない場合は 12 / 20  
 チェックをつけた場合は、 11 / 2

## 出力するExcelブック名

各画面にある下記 出力するExcelブック名 部分では、書き出したブック名を指定します。

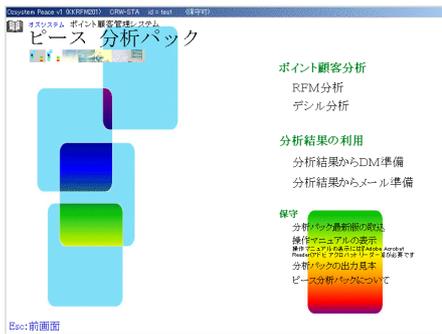
出力するExcelブック名(フォルダを指定しない場合は C:¥ に作成されます)	F9:参照
b:¥test	

参照を押して、保存する場所を選びファイル名を入力し保存を押します。  
(ここでいう保存とは、ファイル名を決定する事で、実際にファイルが出来上がるのではありません。)



# 分析結果の利用：分析結果からのDM分析

顧客分析で出力したExcelデータを元に、ダイレクトメールの準備を行います。



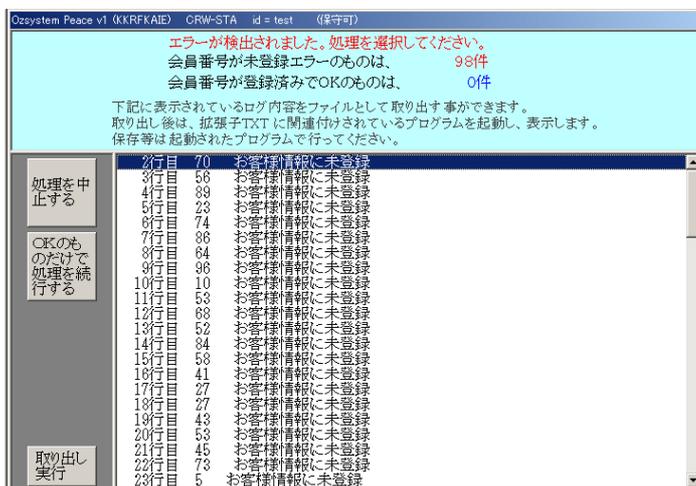
## F:11新規入力

参照をクリックして、利用するExcelファイルを選択してください。



上記画面で「F12:次画面」をクリックするとこの画面になります。

発送予定日及びメモの入力  
顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。



参照したシート及び列に不備がある場合は左の画面がです。表示に従い処理を続行してください。

### 処理を中止する

処理を中止し前の画面に戻ります。

### OKのものだけで処理を続行する

使用可能なデータのみで準備を行います。

### 取り出し実行

表示されている、エラーログをTXTファイルで出力します。

## F12:修正

既に登録されているDM宛先の内容を修正します  
尚、分析パックにて設定したデータのみ可能です

## F12:次画面

上記画面でファイルを指定し「F12:次画面」をクリックするとこの画面になります。

発送予定日及びメモの入力  
顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。

参照したシート及び列に  
不備がある場合は左の画面がでます。  
表示に従い処理を続行してください。

### 処理を中止する

処理を中止し前の画面に戻ります

### OKのものだけで処理を続行する

使用可能なデータのみで準備を行います。

### 取り出し実行

表示されている、エラーログをTXTファイルで出力  
します。

## 発送予定日/メモのみを修正する

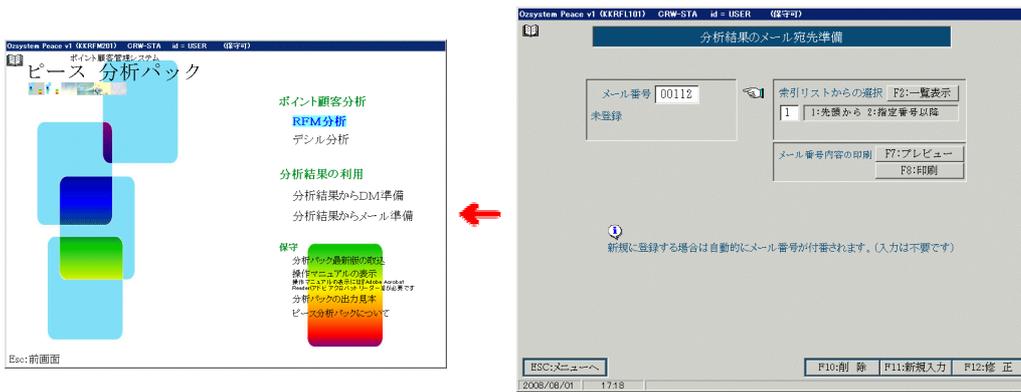
修正画面の「発送予定日/メモのみを修正する」  
をクリックすると、この画面になります

発送予定日とメモの内容を修正します。  
修正画面で「発送予定日/メモのみを修正する」 をクリック  
するとこの画面になります。

発送予定日及びメモについては  
ピースマニュアルを参照してください。

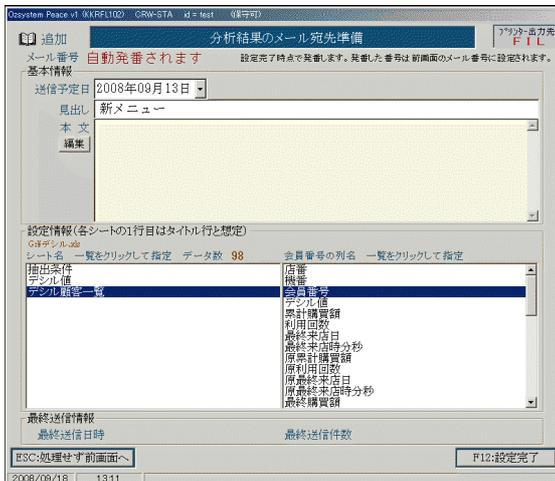
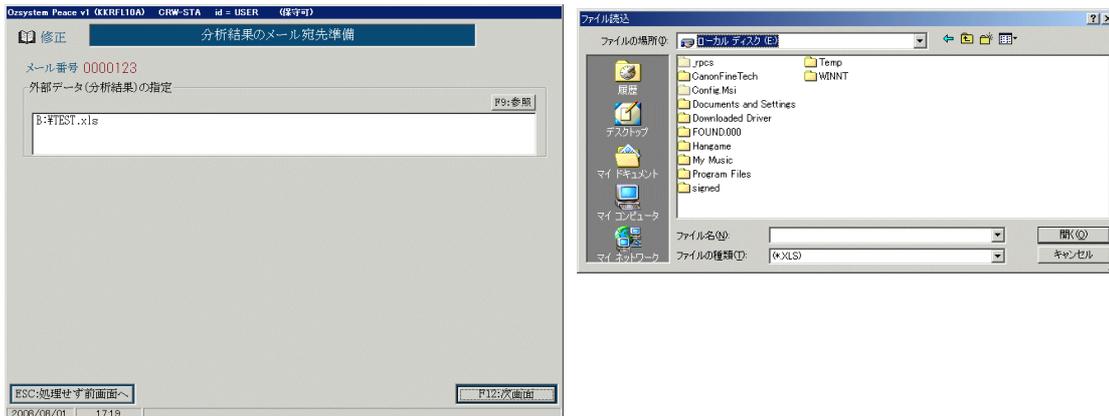
# 分析結果の利用：分析結果からのメール準備

顧客分析で出力したExcelデータを元に、Eメールの準備を行います。



## F11：新規入力

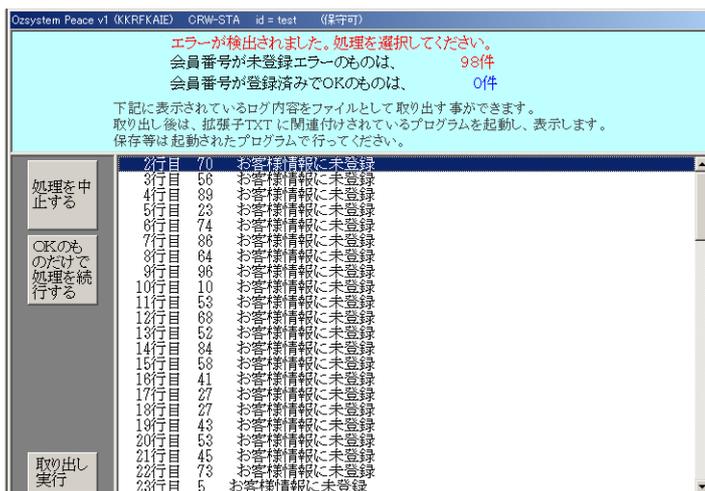
参照をクリックして、利用するExcelファイルを選択してください。



上記画面で「F12:次画面」をクリックするとこの画面になります。

送信予定日・見出し・本文の入力と顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。

送信予定日・見出し・本文については、ピースのマニュアルを参照



参照したシート及び列に不備がある場合は左の画面がでます。表示に従い処理を続行してください。

### 処理を中止する

処理を中止し前の画面に戻ります

### OKのものだけで処理を続行する

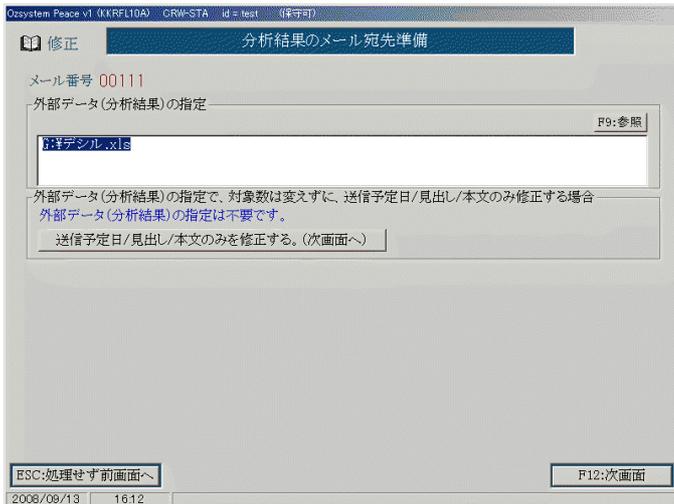
使用可能なデータのみで準備を行います。

### 取り出し実行

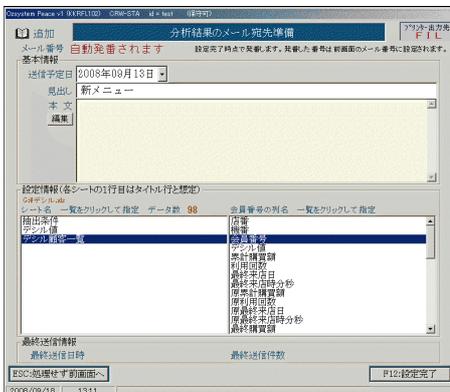
表示されているエラーログをTXTファイルで出力します。

## F12:修正

既に登録されているメール宛先の内容を修正します。  
尚、分析パックにて設定したデータのみ可能です



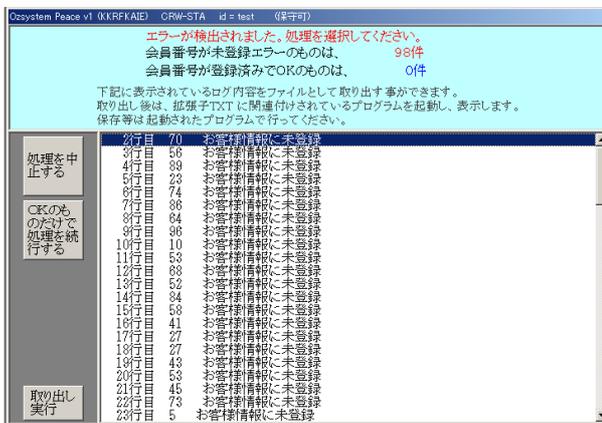
## F12:次画面



上記画面でファイルを指定し「F12」をクリックするとこの画面になります。

送信予定日・見出し・本文の入力と顧客一覧のシートと会員番号の列を指定します。

送信予定日・見出し・本文については、ピースのマニュアルを参照



参照したシート及び列に不備がある場合は左の画面がでます。  
表示に従い処理を続行してください。

### 処理を中止する

処理を中止し前の画面に戻ります

### OKのものだけで処理を続行する

使用可能なデータのみで準備を行います。

### 取り出し実行

表示されている、エラーログをTXTファイルで出力します。

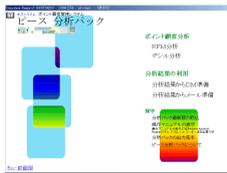
## 送信予定日/見出し/本文のみを修正する



修正画面の「送信予定日/見出し/本文のみ」を修正するをクリックすると、この画面になります

送信予定日・見出し・本文のみを修正します。

送信予定日・見出し・本文については、ピースのマニュアルを参照



保守

- 分析パック最新版の取込
- 操作マニュアルの表示  
操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat Reader(アドビ アクロバット リーダー)』が必要です
- 分析パックの出力見本
- ピース分析パックについて

- ①分析パックパック最新版の取込  
別紙「ピースV1用分析パックパック セットアップガイド」を参照してください。  
注意：ピース本体の「最新版の取込」とは別処理です。  
分析パックパックは、必ず 分析パックパック最新版の取込 にて行ってください。
- ②操作マニュアルの表示  
この操作マニュアルを表示します。  
操作マニュアルの表示には『Adobe Acrobat Reader(アドビ アクロバット リーダー)』が必要です。
- ③分析パックパックの出力見本  
別紙「ピースV1 分析パックパック 出力見本」の内容のExcelブックを表示し直Mす。
- ④ピース分析パックパックについて  
バージョン等を表示します。